

2004年3月期 中間決算概要

2003年11月5日

株式会社プロトコーポレーション

証券コード:4298

連結損益計算書



(単位 :百万円)

	2002年9月期		2003年9月期				前年同期対比		計画対比	
	実績(A)	売上比	計画(B)	売上比	実績(C)	売上比	(C)-(A)	%	(C)-(B)	%
売上高	8,882	100.0%	10,828	100.0%	10,513	100.0%	1,631	118.4%	314	97.1%
売上原価	4,508	50.8%	5,799	53.6%	5,217	49.6%	709	115.7%	581	90.0%
売上総利益	4,373	49.2%	5,028	46.4%	5,296	50.4%	922	121.1%	267	105.3%
販売費及び一般管理費	3,541	39.9%	4,820	44.5%	4,208	40.0%	667	118.8%	611	87.3%
営業利益	832	9.4%	208	1.9%	1,087	10.3%	255	130.7%	878	520.4%
経常利益	828	9.3%	178	1.7%	1,041	9.9%	213	125.8%	862	582.4%
中間(当期)純利益	453	5.1%	54	0.5%	521	5.0%	67	114.9%	467	956.7%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 売上高 (前期対比 118.4%、計画対比 97.1%)

前期対比 118.4% (1,631百万円増)の主な要因は、プロトコーポレーションにおける売上増(1,157百万円)及び2002年10月に子会社化したリペアテック出版の売上高(529百万円)がグループ売上高に寄与した事によるものであります。

プロトコーポレーションにおいては、前期中に創刊した媒体の売上高が通期寄与した事と、インターネット関連の売上高が増加した事が、売上増の要因となっております。

■ 売上原価 (前期対比 115.7%、計画対比 90.0%)

前期対比 115.7% (709百万円増)の主な要因は、プロトコーポレーションにおいて、前期中に創刊した媒体の売上原価が通期で発生した事によるものであります。

計画対比 90.0% (581百万円減)の主な要因は、プロトコーポレーションにおける仕入コスト削減によるものであります。

■ 販売費及び一般管理費 (前期対比 118.8%、計画対比 87.3%)

前期対比 118.8% (667百万円増)の主な要因は、グループ全体で社員数が54名前期を上回った事に伴う人件費の増加と、生活関連情報における販売促進費の増加等によるものであります。

計画対比 87.3% (611百万円減)の主な要因は、社員数が計画人員を下回った事と広告宣伝戦略の見直しによるものであります。

販売費及び一般管理費の状況



(単位 :百万円)

	2002年9月期		2003年9月期				前年同期対比		計画対比	
	実績(A)	売上比	計画(B)	売上比	実績(C)	売上比	(C)-(A)	%	(C)-(B)	%
販売費及び一般管理費	3,541	39.9%	4,820	44.5%	4,208	40.0%	667	118.8%	611	87.3%
人件費	1,573	17.7%	2,007	18.5%	1,882	17.9%	308	119.6%	125	93.8%
広告宣伝費関連	858	9.7%	1,321	12.2%	999	9.5%	140	116.4%	322	75.6%
その他経費	1,109	12.5%	1,490	13.8%	1,327	12.6%	217	119.6%	163	89.0%
社員数 (9月末)	548	-	653	-	602	-	54	109.9%	51	92.2%
契約社員数 (9月末)	55	-	51	-	48	-	7	87.3%	3	94.1%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 人件費 (前期対比 119.6%、計画対比 93.8%)

前期対比 119.6% (308百万円増)の主な要因は、プロトコーポレーションにおいて、社員数が増加した事と、2002年10月に子会社化したリペアテック出版の社員数(50名)が加わった事によるものであります。

■ 広告宣伝費関連 (前期対比 116.4%、計画対比 75.6%)

前期対比 116.4% (140百万円増)の主な要因は、生活関連情報における販売促進費の増加によるものであります。

計画対比 75.6% (322百万円減)の主な要因は、広告宣伝戦略の見直しに伴う広告宣伝費の減少によるものであります。

■ その他経費 (前期対比 119.6%、計画対比 89.0%)

前期対比 119.6% (217百万円増)の主な要因は、リペアテック出版の子会社化に伴う経費の増加によるものであります。

計画対比 89.0% (163百万円減)の主な要因は、社員数が計画人員を下回っている事から、人に関わる諸経費が抑制された事によるものであります。

セグメント別 売上高及び営業利益



(単位 : 百万円)

	2002年9月期			2003年9月期			前年同期対比			
	売上高		営業利益	売上高		営業利益	売上高		営業利益	
		構成比			構成比			前期比		前期比
自動車関連情報	8,609	96.9%	2,047	9,412	89.5%	2,719	803	109.3%	671	132.8%
情報登録・掲載料	7,693	86.6%	-	8,023	76.3%	-	329	104.3%	-	-
情報提供料	915	10.3%	-	1,389	13.2%	-	474	151.8%	-	-
生活関連情報	162	1.8%	421	982	9.3%	894	820	605.1%	473	-
不動産	83	0.9%	24	89	0.8%	21	5	107.2%	3	87.8%
その他	27	0.3%	4	29	0.3%	1	1	106.5%	3	32.0%
管理部門	-	-	824	-	-	760	-	-	63	-
合計	8,882	100.0%	832	10,513	100.0%	1,087	1,631	118.4%	255	130.7%

情報登録・掲載料 情報誌への広告掲載料、データベースへの登録料等
 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供料

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 自動車関連情報

売上高については、プロトコーポレーションにおいて、前期中に創刊した媒体 (GodWORLD北海道・東北版) が通期寄与した事をはじめ、インターネット関連の売上高が増加した事と、リペアテック出版の売上高 (529百万円) が通期寄与した事等により、情報登録・掲載料、情報提供料ともに増加しております。

営業利益についても、広告宣伝戦略の見直し等により、前期対比 132.8% (671百万円増) となっております。

■ 生活関連情報

売上高については、プロトコーポレーションにおいて、前期中に創刊した媒体 (VeeSchool首都圏版、VeeSchool東海版、VeeSchool関西版) が通期寄与した事等により、前期対比 605.1% (820百万円増) となっております。

営業損失が拡大した主な要因は、海外旅行情報誌「Vee TRAVEL」を本年6月に創刊した事によるものであります。

なお「Vee TRAVEL」については、本年8月9日発売号をもって休刊いたしております。

地域別売上高

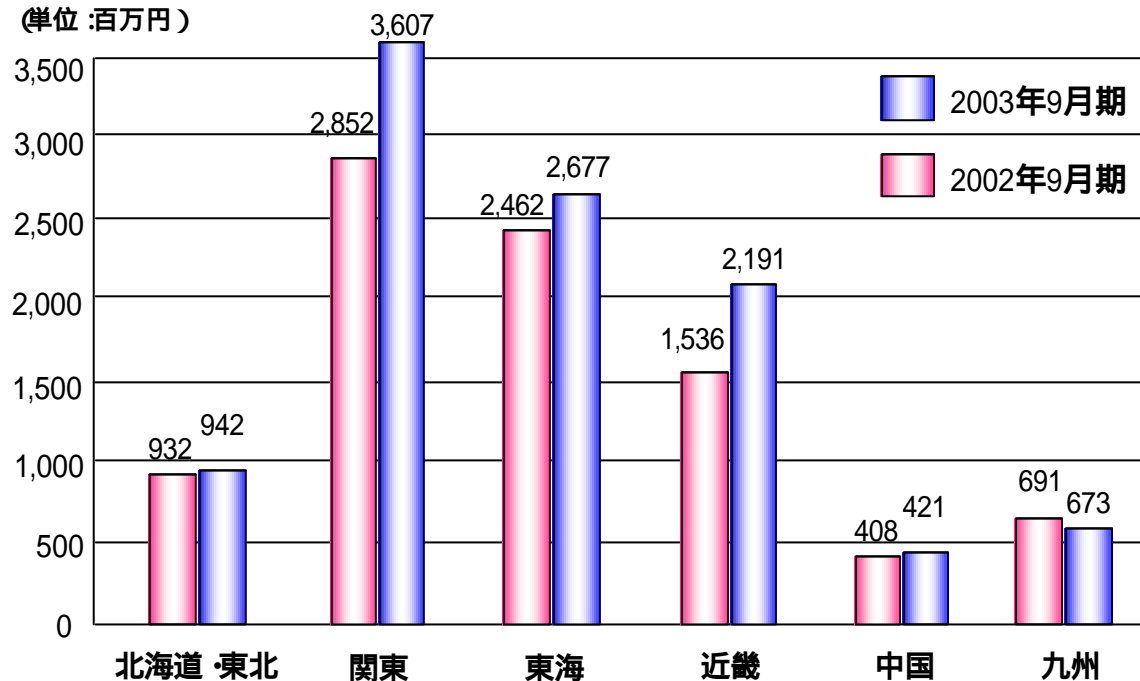


(単位:百万円)

	2002年9月期		2003年9月期		増減	
		構成比		構成比		前期比
北海道・東北地区	932	10.5%	942	9.0%	10	101.1%
関東地区	2,852	32.1%	3,607	34.3%	755	126.5%
東海地区	2,462	27.7%	2,677	25.5%	215	108.8%
近畿地区	1,536	17.3%	2,191	20.8%	655	142.6%
中国地区	408	4.6%	421	4.0%	12	103.2%
九州地区	691	7.8%	673	6.4%	17	97.4%
合計	8,882	100.0%	10,513	100.0%	1,631	118.4%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)



最近2カ年における創刊媒体

- GooBike 関東版 (2001年8月 創刊)
- GooBike 東海版 (2001年8月 創刊)
- GooBike 関西版 (2001年8月 創刊)
- GooBike 九州版 (2001年9月 創刊)
- GooWORLD 関東版 (2001年9月 創刊)
- GooWORLD 中国・九州版 (2002年2月 創刊)
- GooParts (2002年3月 創刊)

- GooWORLD 北海道・東北版 (2002年7月 創刊)
- VeeSchool 東海版 (2002年8月 創刊)
- VeeSchool 首都圏版 (2003年1月 創刊)
- VeeSchool 関西版 (2003年1月 創刊)

- VeeTRAVEL (2003年6月 創刊)
- 2003年8月 休刊

連結貸借対照表



(単位 :百万円)

	2002年9月期		2003年3月期		2003年9月期		増減 (B) - (A)
		構成比	(A)	構成比	(B)	構成比	
流動資産	7,460	55.6%	6,716	46.7%	7,470	48.5%	754
固定資産	5,953	44.4%	7,668	53.3%	7,934	51.5%	265
流動負債	5,236	39.0%	5,355	37.2%	5,960	38.7%	605
固定負債	696	5.2%	1,428	9.9%	1,383	9.0%	45
少数株主持分	56	0.4%	72	0.5%	89	0.6%	16
株主資本	7,423	55.3%	7,529	52.3%	7,972	51.7%	443
総資産	13,414	100.0%	14,385	100.0%	15,405	100.0%	1,020

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 流動資産の増加 (2003年3月期対比 754百万円増)

主な要因は、現金及び預金の増加 (852百万円) によるものであります。現金及び預金の増加要因は、事業利益、従業員への賞与支給が当期間中には発生していない事によるものであります。

■ 固定資産の増加 (2003年3月期対比 265百万円)

主な要因は、プロトコーポレーションにおける、長期性預金の増加によるものであります。

■ 流動負債の増加 (2003年3月期対比 605百万円)

主な要因は、プロトコーポレーションにおける、未払費用ならびに未払法人税等の増加によるものであります。

■ 株主資本の増加 (2003年3月期対比 443百万円)

主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

設備投資及びキャッシュ・フローの状況



(単位 :百万円)

	2002年9月期	2003年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	188	1,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	649	432
財務活動によるキャッシュ・フロー	142	156
現金及び現金同等物の中間(期末)残高	4,523	4,016

設備投資額	501	76
減価償却費	76	91

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、3ヶ月以内に償還期限の到来する短期資金からなっております。
金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおける、税引前当期純利益の増加、未払費用の増加、法人税等の支払額の減少等により、1,441百万円となっております。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおける、定期預金への預入れによる支出等により、432百万円となっております。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおける配当金の支払と、子会社における長期借入金の返済による支出等により、156百万円となっております。

2004年3月期 通期連結業績予想



(単位 :百万円)

	2003年3月期		2004年3月期				前年同期対比		期初計画対比	
	実績 (A)	構成比	前回予想 (B)	構成比	今回予想 (C)	構成比	(C)- (A)	%	(C)- (B)	%
売上高	19,217	100.0%	22,400	100.0%	20,835	100.0%	1,617	108.4%	1,564	93.0%
自動車関連情報	17,971	93.5%	18,774	83.8%	18,767	90.1%	795	104.4%	6	100.0%
生活関連情報	979	5.1%	3,246	14.5%	1,763	8.5%	784	180.1%	1,482	54.3%
不動産	178	0.9%	184	0.8%	178	0.9%	0	100.0%	6	96.5%
その他	88	0.5%	196	0.9%	126	0.6%	37	142.1%	68	64.8%
営業利益	1,182	6.2%	1,435	6.4%	1,814	8.7%	631	153.4%	378	126.3%
当期純利益	661	3.4%	743	3.3%	914	4.4%	253	138.2%	171	123.1%
社員数	592	-	653	-	621	-	29	104.9%	32	95.1%
契約社員数	56	-	52	-	53	-	3	94.6%	1	101.9%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 売上高 (前期対比 108.4%)

自動車関連情報については、主に、リペアテック出版の売上高が通期寄与する事と、プロトコーポレーションにおけるインターネット関連売上高の増加等により、前期対比 104.4% (795百万円増) の 18,767百万円を計画しております。

生活関連情報については、主に、プロトコーポレーションにおいて、前期中に創刊した媒体 (Vee School) の売上高が通期寄与する事等により、前期対比 180.1% (784百万円増) の 1,763百万円を計画しております。ただし「Vee TRAVEL」の休刊等の影響により、期初計画対比では、54.3% (1,482百万円減) となる見込みであります。

■ 営業利益 (前期対比 153.4%)

自動車関連情報については、広告宣伝戦略の見直し等の影響により、前期対比 112.3% (524百万円増) の 4,794百万円を計画しております。生活関連情報については、海外旅行情報誌「Vee TRAVEL」創刊 (本年 8月に休刊を決定)に伴う支出が発生したものの、「Vee School」における広告宣伝戦略の見直しを図る事等により、前期対比 302百万円増 の 1,161百万円を計画しております。また、全体では前期対比 153.4% (631百万円増) の 1,814百万円を計画しております。

将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうる事を、ご承知おき下さい。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式の売買等を行うことが禁じられています。（証券取引法166条）

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから、周知のために必要な期間として12時間が経過した時点をもって「公表」されたものとみなされます。

問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経営企画室

名古屋市中区葵一丁目23番14号

TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750

ホームページアドレス <http://www.proto-g.co.jp>

E mail ir@proto-g.co.jp

担当 / 鈴木